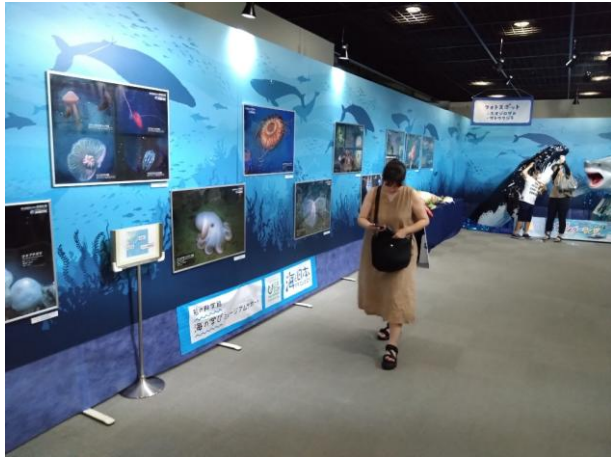


開催館名 岐阜市科学館

企画展名 わくわく川と海のワンダーランド

開催期間：2024年7月20日（土）～2024年9月1日（日）



【企画展の目標】

- 多様な川や海に生息する生き物のすばらしさを、本物の生物とデジタルを活用した体験型の展示で学ぶことにより、海のない岐阜県でも、海を身近に体感することを目的とする。
- きれいな海と汚染された海を比較できる水槽の設置、スマートグラスを利用したバーチャル水族館、ロボットを使ったSDG'sクイズなど、多彩な展示と、関連する工作教室などを実施
- 海と川の生物を通じ、ごみや外来種等の環境問題について、楽しみながら、学び、現在、世界的にも取り組むべき課題であるSDG'sについて、広く知る機会の提供

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

1. 企画展示の内容

■開催期間：2024 年 7 月 20 日（土）～2024 年 9 月 1 日（日）

■開催場所：岐阜市科学館

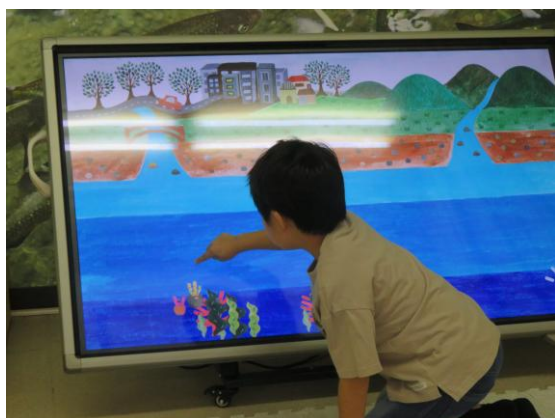
■入場者数：19,803 人



岐阜市科学館 外観



企画展会場 入口



タッチパネルをタップすることで川から海に流れるゴミをきれいにするアトラクションでは、たくさんあるゴミをきれいにしきろうと一生懸命タップする姿が見られる。また、高低差を読み取り、川や海を作ることができる砂場体験では、力を合わせて山を作ったり、海の部分に亀や魚が泳ぎ始めると喜びの声が聞こえたりと楽しみながら海を身近に感じる姿が見られている。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



ロボットが出題するSDG'sに関する問題に何度も取り組む姿が見られる。難易度を選んで参加できるため、自分に合った学びを獲得することができている。

また、海に生息するチンアナゴになりきり、たたかれないように逃げるアトラクションでは、穴から顔をのぞかせ、たたかれないように楽しむ姿がたくさん見られている。



AR技術を利用したメガネをかけると、目の前に海の生き物たちが泳ぎ、右手を差し伸べるとエサが出てきて魚たちが集まってくることを楽しんだり、近づく色とりどりの魚たちに触れあったりする姿が見られている。

また、海の生体展示では、海洋プラスチックごみがある水槽とない水槽を見比べ、住みよい環境について親子で会話する姿が見られた。

【来館者の声】

- 海を色々な角度から感じられた。今後も、海に触れる事があったら色々な楽しみ方をしてみたい。
- 海には色々な生き物がいるから、絶滅しないように守っていききたい。
- 海の綺麗なさざ波を感じられて、癒やされました。この美しい音色を聞くことができる海が、今後も存続できるように自分にできることをしようと思った。
- ゴミを持ち帰るなど、海をキレイにし、魚が住みよい環境に人間が協力する！

2. 関連事業の様子

■工作教室「ダイオウグソクムシをつくろう」

【開催日時】2024年7月20日（土）～2024年9月1日（日）
11:30～12:00、15:30～16:00

【開催場所】岐阜市科学館 実験学習室

【参加者数】1,203名

【目標・内容】

- 子どもが簡単に取り組めるペーパークラフトとして、深海に生息するダイオウグソクムシを制作する工作教室とする。
- 単に工作するだけではなく、制作する生き物がどのような環境で生きているかを紹介したり、現在置かれている環境について伝えたりすることで、海の生き物をより身近に感じ、工作を楽しみながら、海への興味・関心を高める。



ペーパークラフトにあるパーツをはさみを使って切り取ったり、両面テープを使って各パーツを貼り付けたりする作業を黙々と取り組む姿や親子で協力しながら制作する姿が多く見られた。



出来上がった作品を大切に持って帰る姿から、海の生き物への興味・関心だけでなく、愛着をもつことにも繋がっている。

【来館者の声】

- 用紙を切ったり、貼ったりすることが難しかったけど、できてうれしかった。
- かわいいダイオウグソクムシができてうれしい。大事にしたいです。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■クイズスタンプラリー

【開催日時】 2024年7月20日（土）～2024年9月1日（日）
9：30 ～ 17：30

【開催場所】 特別展会場全エリア

【参加者数】 1,497 名

【目標・内容】

- 各エリアを巡回し、海や川の生物、環境問題などの各展示の説明を学ぶことにより問題を解決できるスタンプラリーとする。
- スタンプラリーというゴールを設定することにより、解答に必要となる、海や川の状況や現在の課題などの、展示により伝えたい情報を漏れなく観覧し、楽しみながら来場者が学ぶ。



海や川の生体やSDG'sに関する問題を設定し、各エリアを周って解説を読んだり、アトラクションを体験したりすることで解答できるように内容を工夫した。

問題の答えを確かめるために、何度もエリアを行き来して展示内容を知ろうと行動している子どもも見られた。



来場者の多数が参加し、各エリアでスタンプを押して回る姿が見られた。最後のスタンプを押すことができた子どもたちが笑顔でやりきった満足感を味わっている。

【来館者の声】

- 小さな子どもでもわかる問題になっていて、親子で楽しむことができました。
- 全部答えを見つけることができてよかった。
- 海が汚れているので、きれいにしたいと思いました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■SNS 投稿キャンペーン

【開催日時】2024年7月20日（土）～2024年9月1日（日）

【開催場所】特別展会場全エリア

【参加者数】94名

【目標・内容】

- 特別展にて体験した学びの跡を残すことや展覧会を広く周知するため、来場者の SNS 投稿を促すキャンペーンを実施する。
- 会場内にフォトスポットとして写真を撮ることができる海の生き物の大型展示物を設置する。
- 来場者が会場内で自身のアカウントにて来場した様子やコメントを投稿することで、ノベルティを贈呈。来場した感想や体験して楽しかったこと等を記録に残す。

ねんど なつ とくべつてん かわ うみ
2024年度 夏の特別展「わくわく川と海のワンダーランド」

とうこう
SNS 投稿キャンペーン

1. ハッシュタグ「**#岐阜市科学館**」と
「特別展内の写真」をSNSに投稿
※関係のない方が写りこまないこと

2. 科学館の人に見せる

3. プレゼントがもらえる！
(※1アカウントにつき1つまで)

岐阜市科学館 海と日本プロジェクト

ホオジロサメ等の大型オブジェだけでなく、お絵描きパラダイスやチンアナゴたたか
れなど、子どもたちが活動している様子を保護者が動画や画像に撮り、SNSへ投稿して
いただけている。投稿していただいた方へ感想を聞くと、「子どもが描いたものがスクリ
ーンに映り、それを自分のデータとして残せてよかった。」と満足感の高さが伺えた。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

■特別イベント 水生昆虫のふしぎ

【開催日時】2024年7月28日（日）

【開催場所】実験学習室

【参加者数】27名

【目標・内容】

- 長良川に生息する水生昆虫の中で、希少となっている生物を取り上げ、生息環境や飼育方法などを学ぶことができる。
- 近隣の自然環境の中で、見るのが少なくなっている水生昆虫の生態を学ぶ教室を実施することを通して、川や海の生物の生態系の維持などのSDGsを考える場を提供する。



海的环境は山から流れていく川の水などが大きく関わっており、岐阜市に流れる長良川の水質やそこに生息する水生昆虫の生育環境について学ぶ場を提供した。

そうした中で絶滅危惧種Ⅱ類に指定されているヒメタイコウチを例にあげた。受講した子どもたちだけでなく、保護者も興味深く話を聞きいる姿があった。



実際に動くヒメタイコウチをじっくり観察したり、どのような場所で生息し、何を食べどのように成長するのかについて学んだりした上で、もし飼育した場合の飼育者としての責任についても考える場を提供した。現代の川に始まり海に至るまでの水生生物やその環境を知るよいきっかけとなった。

【来館者の声】

- 生き物を大切にしたいと思いました。
- 昔はたくさんいた生き物も今は少なくなっている生き物もいるので、自分ができることをしていきたいと思いました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■特別イベント銅板レリーフづくり体験

【開催日時】2024年8月3日（土）

【開催場所】実験学習室

【参加者数】87名

【目標・内容】

- 海の生き物をモチーフにした銅板レリーフを作成する。
- 自分の興味のある海の生き物を選び、へらなどを使って浮きだたせて銅板レリーフを完成させることで、海の生き物への興味・関心や愛着をもつことにつながる。



受付を済ませた子供たちは、モチーフになっている4種類の海の生き物から好きなものを選べるようにした。

台紙を銅板の上に置き、釘で後をつけ、へら等を使用して凹凸をつける作業をスタッフより説明した。



スタッフのアドバイスを受けながら慎重にへらを使って銅板を浮きだたせる作業を行う姿や黙々と工作に集中する姿、親子で協力しながら工作を楽しむ姿もたくさん見られた。自分なりの作品ができたときには、満足そうな表情を浮かべた。

【来館者の声】

- へらでへこませることが難しかったけど、できたのでうれしかった。大事にしたいです。
- 好きな生き物を選んで作ることができたのでよかった。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■特別イベント 夜の特別展

【開催日時】2024年8月29日（金）～9月1日（日）

【開催場所】全展示エリア

【参加者数】54名

【目標・内容】

- 夏休みの最後まで特別展を楽しむことができるよう、開館時間を延長する。



台風の影響により、天候が不安定な状況が続き、特別展自体の開催も危ぶまれる状況だった。少しでも夏休みの最後を楽しめるよう、開催に踏み切ったが、やはり来場者は少なかった。

しかしながら、日中から特別展を楽しみ、引き続き夜も楽しむ家族もいた。



【来館者の声】

- 普段仕事で子どもに楽しい思いをさせられなかったが、開館を延長してもらえたことにより、親子でゆっくり楽しむ機会がもらえてうれしかった。

【事業全体のまとめ】

来場者のアンケートや実際の声として「生きたタコを初めて見た」「タコとプラスチックごみのコラボで考えさせられた」など、海の生き物への興味・関心を高めるだけでなく、生き物を生息しやすい環境を考えるきっかけづくりとして来場者にも好評だった。

また、砂場で遊ぶコーナーや VR で海の中に入ったかのような体験ができるコーナーを位置付けたことにより、海のない岐阜に住む小さな子どもも楽しみながら海を身近に感じられるきっかけづくりとなった。

付帯事業で行った工作教室やクイズスタンプラリーは、すべての来場者が気軽に参加でき、生き物の環境や生態を考えるきっかけづくりとして効果的だった。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 全国科学館協議会	深海に住む生き物のパネル展示の借用
2. 海と日本 PROJECT	長良川から伊勢湾に流れ着くプラスチックごみ等の紹介動画の借用

※主に教育機関や地域団体、他館などを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 岐阜新聞	新聞広報 6/27、6/29、7/10、8/1、8/14、8/21、8/25、8/28、9/1
2. 岐阜市科学館 HP	特別展開催紹介ページ 6/29
3. 岐阜新聞社 ギふのはね	新聞広報 6/11
4. 岐阜新聞社 マナビのトビラ	新聞広報 6/14

※TV・新聞・雑誌等、主なものを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

以上